

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時： 平成29年9月21日(木) 11:00～11:45

場 所： 法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

発表事項

1. ベールを脱いだ「スマート・テロワール」の实地検証
ー山形大学農学部附属農場での「実証展示圃」初年度の実践と今後の展開ー
2. 教員の研究紹介～細胞の中から探る病気のしくみ～
3. フィリピン・ウィーク in Yamagata を開催します
4. 学生の活動紹介～山形大学かるた部～

お知らせ

1. 山形大学農学部創立70周年記念事業について
2. 農学部紹介講座「農学のタベ」のご案内
3. 山形大学農場フェスティバルを開催します
4. 地域教育文化学部ホームカミング(資料パネル展示会)を開催します
5. 第4回東北野生動物管理研究交流会 in つるおか を開催します

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時:平成29年10月5日(木) 11:00～11:45

場 所:法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

学長定例記者会見(9月21日)発表者

1. ベールを脱いだ「スマート・テロワール」の实地検証

ー山形大学農学部附属農場での「実証展示圃」初年度の実践と今後の展開ー

学術研究院 教授(農学部附属フィールド科学センター担当)

大学院農学研究科 1年

//

うらかわ しゅうじ
浦川 修司
むろい ちはる
室井 智陽
おの めぐみ
小野 恵美

2. 教員の研究紹介～細胞の中から探る病気のしくみ～

学術研究院 准教授(疾患細胞生物学)

たなか あつし
田中 敦

3. フィリピン・ウィーク in Yamagata を開催します

学術研究院 准教授(東南アジア史)

いまむら まさお
今村 真央

4. 学生の活動紹介～山形大学かるた部～

人文学部人間文化学科 3年

理学部生物学科 3年

わたなべ ゆい
渡邊 唯
まるやま しほ
丸山 史帆

平成29年9月21日

山形大学

ベールを脱いだ「スマート・テロワール」の実地検証 ー山形大学農学部附属農場での「実証展示圃」初年度の実践と今後の展開ー

山形大学農学部においては、カルビー株式会社相談役・松尾雅彦氏のご支援により設置しました寄附講座「食料自給圏（スマート・テロワール）形成講座」が2年目を迎えました。本講座では、加工用畑作物の輪作体系の構築や規格外農産物を利用した豚の肥育試験に取り組んでいます。特に農学部附属やまがたフィールド科学センターで肥育した豚肉は、地域の加工業者（株式会社東北ハム）のご協力により、ハムやソーセージに加工していただきました。それらは、鶴岡市と酒田市のスーパーで試食会を行い、改良を加えて、年内には山形大学ブランド（スマート・テロワールブランド）のハムやソーセージとして地元スーパーでの販売を目指しています。

1. これまでの取組

畑輪作においては、農学部附属やまがたフィールド科学センターが中心となつて、馬鈴薯－大豆－蕎麦（2年目は小麦）－飼料用トウモロコシの輪作体系の中で、高収量高品質な加工用農産物の生産に取り組んできました。また、加工用農産物の規格外品を利用した豚の肥育試験を行いました。生産した豚肉は地域の加工業者（株式会社東北ハム）のご協力によって、ハムやソーセージに加工していただき、地元スーパーで5月に1回目の試食会を行いました。

2. 今後の展開

(1) 畜肉

畜肉加工品については、1回目の試食会のアンケート結果を踏まえて、より美味しい加工品に改良し、酒田市のスーパーで9月16日に2回目の試食会を開催しました。また、9月24日には鶴岡市でも試食会を予定しており、年内には、山形大学ブランドのハムやソーセージとして、地元のスーパーでの販売を目指しています。

(2) 農産物

畑輪作体系において収穫された農産物も、地元の加工業者の協力により、馬鈴薯はコロッケやポテトサラダ、大豆は豆腐、小麦はパンなどに加工して、畜肉と同様に美味しい加工品を地元の消費者の皆さまに提供できるように取り組んでいきます。

(3) 収穫感謝祭の開催

11月28日には、これまでの研究成果を紹介するとともに、地元の皆さまに厳選素材を用いた農畜産物の加工品を味わっていただく収穫感謝祭を予定しています。

※「スマート・テロワール」は、松尾雅彦氏が著書の中で提唱しているもので、英語のスマート（賢い）にフランス語の「terre（テラ）」から派生したテロワールを組合せた造語。特にテロワールとは、土壌や気象を含めた総合的な生育環境のことで、独自の気候風土を共有する地域環境を表しています。本講座では畑作と畜産の連携を図って農畜産物を生産し（耕畜連携）、さらに加工業者と一体となって厳選素材を利用した加工食品を製造し（農工一体）、地域内で販売・消費することで（地産地消）、全てを地域内で完結できる循環型の経済圏を形成することを目的としています。

（お問合わせ）

学術研究院（農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門担当）
教授 浦川修司 電話 0235-24-9981

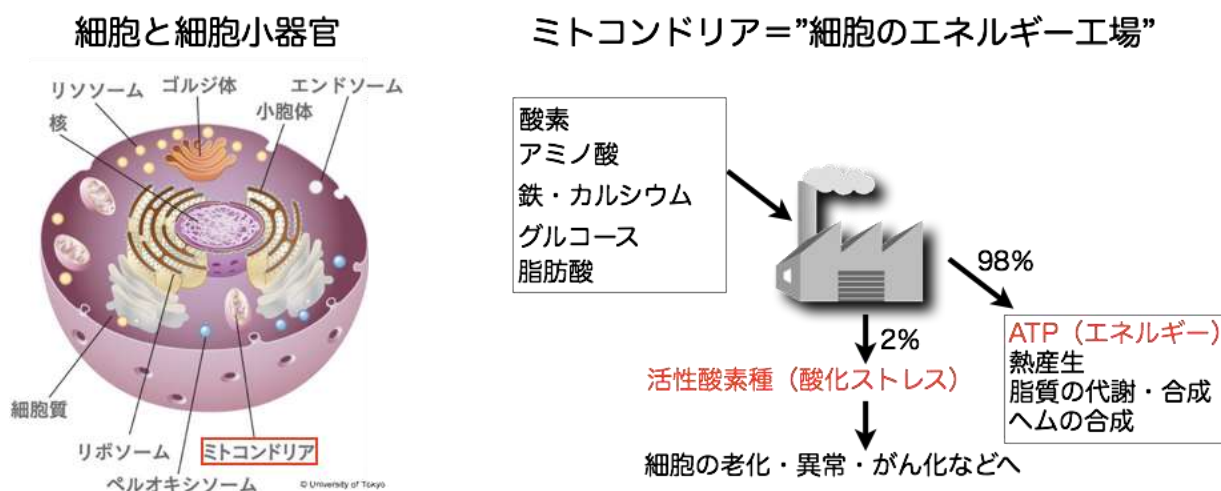
平成 29 年 9 月 21 日
山 形 大 学

山形大学の研究紹介～細胞の中から探る病気のしくみ～

ヒトが病気になる，といった場合に，その体の中で起きているのは臓器の不調です。その臓器は“組織”というひとつひとつの“細胞”が集まったものでできています。さらにその細胞の中には“細胞小器官”とよばれる，それぞれが特別な機能をもった構造体があります。田中敦准教授（疾患細胞生物学）は，細胞小器官の一つであるミトコンドリアと，パーキンソン病のような神経変性疾患の関係について研究を進めています。そのなかで明らかになりつつあることは，ミトコンドリアは細胞にとってエネルギーを作り出す大切な小器官ですが，一方では細胞を中から傷つけてしまう，諸刃の剣でもあるというユニークな姿でした。諸刃の剣はいかにして細胞を傷つけ，病気を引き起こすのかを理解することで，さまざまな病気の予防に貢献しようとしています。

1 ミトコンドリアは細胞のエネルギー工場

ミトコンドリアはひとつの細胞のなかに数百から数千も存在します。主なはたらきは，細胞の中で起きるさまざまなことに使われる“エネルギー”の生産です。呼吸で得られた酸素と食事などから得られた栄養分を使い，効率よくエネルギーに変換するミトコンドリアの姿は，“細胞のエネルギー工場”とも例えられます（下図）。



2 ミトコンドリアと病気：ミトコンドリアは諸刃の剣？

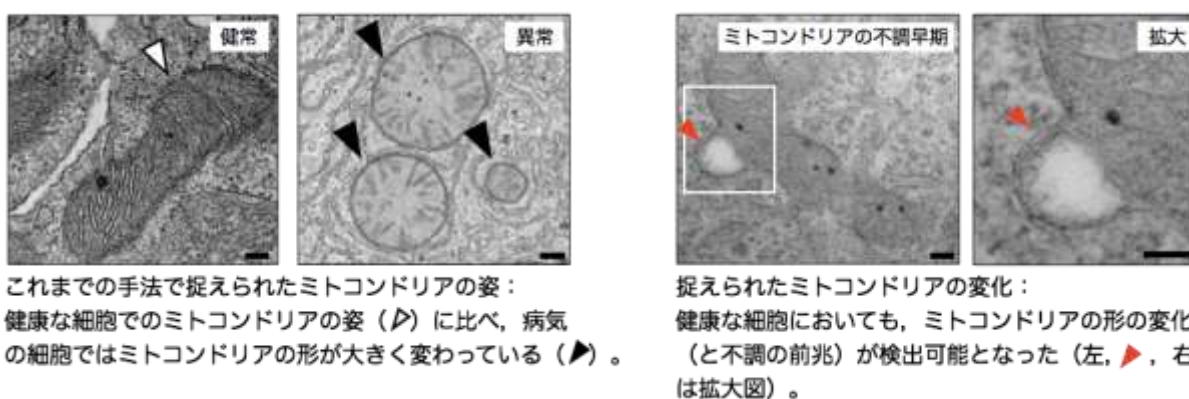
エネルギー工場，と例えられるとおり，ミトコンドリアもエネルギーを作り出す際に細胞にとって有害な副産物を作ってしまいます。酸化ストレス（活性酸素種）と呼ばれる一連の副産物は，通常は細胞内のさまざまなシステムでもう一度無害なものに変換されます。またミトコンドリア自体もその副産物で自己崩壊してしまわないように，工場の“品質管理”のようなシステムを持ちます。これらはもともと備わっているシステムですが，何らかの理由（遺伝子の異常，老化，生活習慣によるストレスなど）で損なわれると，エネルギーを上手く作りだせないミトコンドリアが，細胞の中

にたまります。その結果、細胞はエネルギー不足に陥り、機能がうまく発揮できない細胞が増えた組織や臓器でも、不調をきたします。これがミトコンドリア不調を原因とする病気の発症や老化、がん化などにつながるメカニズムだと考えられています。

3 みえてきたミトコンドリア“機能維持”のしくみと可能性

では細胞の中で不調になった（なりつつある）ミトコンドリアを、病気になる前に見つけ出すことは可能でしょうか。世界中の研究者がその手法を探していますが、これまでに見つかった手法の多くは、すでに臓器の状態が病気の段階になっている時点での、不調なミトコンドリアの姿でした（下図左）。田中研究室では最近、ミトコンドリアのダイナミクス（形や量、動き）の変化を捉えることで、ミトコンドリアの機能の変化を早期に検出する手法を見出し（下図右）、研究を進めています。ミトコンドリアの変化から、細胞や臓器が重篤な病気の状態になる前にその前兆を捉えられれば、いち早く治療したり、病気の予防を行えたりします。

ミトコンドリアのダイナミクス（形、量や動き）の変化と疾患



4 山形大学医学部で基礎医学の研究を進めています

田中敦准教授は、複数の科学研究費・民間財団助成金・企業共同研究以外に、下記の山形大学プログラムの援助を受けて研究を進めています。

- テニュアトラックプログラム（山形大学医学部 H25~27）
- 国際事業化研究センター研究者支援（海外研究者招聘援助, H25, ドイツ）
- YU海外研究グローイングアッププログラム（若手教員海外派遣 H27, カナダ）
- YU-COE(C) 唾液中物質の網羅的定量的測定技術を用いたSalivaomics研究拠点(H29~分担)

（お問合せ先）

学術研究院 准教授

田中 敦（疾患細胞生物学）

電話023-628-5926

Mail atsushi.tanaka@med.id.yamagata-u.ac.jp

HP <http://tanaka.yu-med-tenure.com/>

平成29年9月21日
山形大学

フィリピン・ウィーク in Yamagata を開催します

山形国際ドキュメンタリー映画祭2017にあわせて、山形大学人文社会科学部が企画しました。フィリピン、日本、アメリカ合衆国の研究者、映画監督、作家、キュレーターを講師に、フィリピンの映画、文学、社会について語り明かします。全企画、入場自由で無料です。

アジアの少数民族と映像文化

世界には数多くの民族が暮らし、7,000以上の言語が話されていると言われていますが、中でも東南アジアにおける言語の多様性は際立っていて、約2,000の言語が使われています。しかしこの地域には12カ国しかありません。

例えば、ミャンマーでは政府が135の民族を認識しています。（しかしこの中に、ロヒンギャ族は含まれていません。）学校や役所ではミャンマー（ビルマ）語が使われていますが、家では自分たちの民族の言葉を話す人々が多くいます。少数民族語が数多く共存しているので、学校で話す言葉、近所で話す言葉、家で話す言葉とそれぞれ異なる3つの言語を日々使用して暮らしている子供も少なくありません。日本では少し想像しにくいですが、多文化共生が実践されていると考えることもできます。

このような民族・言語・宗教的多様性や多文化共生の実態を捉えるのには、文章より映像の方が効果的なので、東南アジア研究でも映像を用いる調査や発表が増えています。

山形には、山形ドキュメンタリーフィルムライブラリーという映像の宝庫があり、東南アジア関連だけでも600を超える映像作品が所有されています。

2017年の映画祭では、現在話題のフィリピン映画に焦点を当て、東南アジアの多様性に迫ります。フィリピン、日本、アメリカ合衆国の研究者、映画監督、作家、キュレーターを講師に、フィリピンの映画、文学、社会について語りあかすイベントを企画しました。

フィリピン・ウィーク in Yamagata

開催期間：10月4日（水）、5日（木）、6日（金）

会場：山形大学小白川キャンパス／山形美術館

主催：山形大学人文社会科学部

（お問合せ先）

学術研究院准教授（人文社会科学部担当） 今村真央

Tel : 023-628-4236

Mail : imamura@human.kj.yamagata-u.ac.jp

☆10月4日（水）

「フィリピンの農村からみるグローバリゼーション」

講師：清水展教授（京都大学）

12:00～13:30

会場：小白川キャンパス・人文社会科学部205教室

「フィリピン研究のタベ」 山形大学学生とサン・カルロス大学学生による研究交流

16:20～18:00

会場：小白川キャンパス・人文社会科学部 206教室

☆10月5日（木）

「フィリピンの中の少数言語文学：セブアノ文学」

講師：ホープ・サバンパン=ユー教授（サン・カルロス大学） 英語による講演、通訳あり

12:00～13:30

会場：小白川キャンパス・人文社会科学部207教室

☆10月6日（金）

パネル・ディスカッション

「フィリピン映画の現在：第3期黄金時代はいかにして到来したか」

マーヴ・エスピナ（キュレーター）、ジョン・ジャンビト（映画監督）、ホープ・サバンパン=ユー（サン・カルロス大学） 清水展（京都大学） 通訳あり

15:30～ 17:30

会場：山形美術館3階

主催：山形大学人文社会科学部・映像文化研究所、山形国際ドキュメンタリー映画祭

共催：東南アジア学会 北海道・東北地区



フィリピン・ウィーク

in YAMAGATA

フィリピンの映画、文学、社会を語り尽くそう！

山形国際ドキュメンタリー映画祭2017にあわせて、山形大学人文社会学部が企画しました。

フィリピン、日本、アメリカ合衆国の研究者、映画監督、作家、キュレーターを講師に、フィリピンの映画、文学、社会について語りあかしましょう。

Philippine Week

in Yamagata

Talks on Philippine Films, Literature, and Society. A series of events in Japanese and English, taking place during the Yamagata International Documentary Film Festival 2017, will present rare opportunities to discuss Philippine films, literature, and society with leading scholars, writers, and film makers from the Philippines, Japan, and elsewhere.



www.yidff.jp

10月4日(水) 5日(木) 6日(金)

October 4(wed) 5(thu) 6(fri) Admission: Free

会場：山形大学小白川キャンパス / 山形美術館

Venue: Kojirakawa campus, Yamagata University / Yamagata Museum of Art

主催：山形大学人文社会科学部

Sponsored by the Faculty of Humanities and Social Sciences, Yamagata University

入 場
無 料

フィリピン・ウィーク in YAMAGATA プログラム Philippine Week

フィリピンの農村からみるグローバリゼーション Globalization—seen from a village in the Philippines

10/4(水) 12:00~13:30 In Japanese

講師：清水展教授 Prof.Hiromu Shimizu

会場：小白川キャンパス・人文社会科学部205教室

Venue: Room205, Fac.of Human.and Soc.Sciences, Kojirakawa campus, Yamagata University

フィリピンの中の少数言語文学：セブアノ文学 Cebuano Literature as A Minority Literature in the Philippines

10/5(木) 12:00~13:30 英語による講演、通訳あり in English with Japanese translation

講師：ホープ・サバンパン=ユー教授 Prof. Hope Sabanpan-Yu

会場：小白川キャンパス・人文社会科学部207教室

Venue: Room207, Fac.of Human.and Soc.Sciences, Kojirakawa campus, Yamagata University

パネル・ディスカッション

フィリピン映画の現在

第3期黄金時代はいかにして到来したか

Panel Discussion

Philippine Cinema Today : How Has the Third Golden Age Come ?

10/6(金) 15:30~17:30 英語でのイベント、通訳あり in English with Japanese translation

マーヴ・エスピナ (キュレーター)、ジョン・ジャンビト (映画監督)、ロックスリー (映像作家
アニメーター)、ホープ・サバンパン=ユー (サン・カルロス大学)、清水展 (京都大学)

Merv Espina, John Gianvito, Roxlee, Hope Sabanpan-Yu, Hiromu Shimizu

会場：山形美術館 3 階

Venue: Yamagata Museum of Art, 3rd floor

主催：山形大学人文社会科学部・映像文化研究所、認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭

共催：東南アジア学会 北海道・東北地区

お問い合わせ Contact

今村真央 Masao Imamura 023-628-4236 imamura@human.kj.yamagata-u.ac.jp

山崎 彰 Akira Yamazaki 023-628-4242 yamazaki@human.kj.yamagata-u.ac.jp

入
場
無
料
Admission
Free

講師・パネリスト Speakers and Panelists

清水展 Hiromu Shimizu

(京都大学名誉教授 Professor Emeritus, Kyoto University)

社会人類学者。長年にわたってフィリピンにおいて調査研究に従事。ルソン島北部の先住民民族イフガオのハパオ村などを調査。グローバリゼーションの波と、これに対峙しつつ文化を守り、生活を向上させようとする村人を追う。またピナトゥボ火山の大噴火で甚大な被害をこうむった先住民アエタに関しても、被災と生活再建の経過について報告し、考察してきた。著書『草の根グローバリゼーション—世界遺産棚田村の文化実践と生活戦略』(京都大学学術出版会)など。

ホープ・サバンパン=ユー Hope Sabanpan-Yu

(サン・カルロス大学・セブアノ文化研究所長 Professor, San Carlos University)

作家・詩人・文学研究者。セブアノ語と英語により創作と研究活動を行っており、セブアノ語の文学の翻訳にも携わっている。またフィリピン文学における女性(母性)表象に関する多数の研究を持ち、それとの比較で日本の女性作家による母性の位置づけも研究している。国民文芸会議中央ビザヤ地方コーディネータ、フィリピン女性研究協会事務局長など。

著書・Women's Common Destiny: Maternal Representations in the Serialized Cebuano Fiction of Hilda Montaire and Austregelina Espina-Moore (2009) et al.

マーヴ・エスピナ Merv Espina

(キュレーター Curator)

マニラ在住のキュレーター。ケソンシティにあるGreen Papaya Art Projectsを主催し、アーティストレジデンス、製作、上映、展示、アーカイビングなどを行なっている。東南アジアを中心に、アート／実験系の映画や映像作品上映のキュレーションを行い、欧米のギャラリーや美術館、映画祭でもキュレーションを行う。彼が共同キュレーションしたThe Kalampag Tracking Agency というフィリピンの実験映画監督たちの作品を集めた短編集は2014年以降、日本を含む世界各地で上映されている。その一環として、七里圭、栗原みえ、真利子哲也らの作品もGreen Papayaで上映された。

ジョン・ジャンビト John Gianvito

(映画監督・エマーソン大学教授 Filmmaker; Professor, Emerson College)

映画監督・キュレーター・批評家。ボストンの大学で映画制作と映画史について講義を持つとともに、ハーバード・フィルムアーカイブでキュレーターをつとめた。2001年にフランス芸術文化勲章(騎士賞)を受けた。2011年山形国際ドキュメンタリー映画祭インターナショナル・コンペティション部門に、「飛行機雲(クラーク空軍基地)」が選ばれた。同作品は、フィリピンの旧アメリカ軍基地「クラーク」による土壌汚染、特にピナトゥボ火山噴火からの避難民に対する被害の実態を扱っている。

ロックスリー Roxlee

(映像作家・漫画家・アニメーター・パフォーマー Filmmaker, cartoonist, animator, performer)

映画制作の他に、多様な領域で活躍する。インデペンデントな小グループで活動し、フィリピンの若手映画人の「ゴッドファザー」的存在。「1989年の『アジアの映画作家は発言する：アジアシンポジウム』に参加して以来、アジア・プログラムでの上映のみならず、映画祭ティザーポスターや先付け、Tシャツなど映画祭グッズにも作品が登場し、山形映画祭とはなじみの深い(映画祭HPより)。YIDFF2009の「アジア千波万波」部門に「グリーン・ロッキング・チェア」が選ばれた。

平成29年9月21日
山形大学

学生の活動紹介 ～ 山形大学かるた部 ～

山形大学かるた部は、小倉百人一首を用いた「競技かるた」という文化系スポーツをして活動しています。

このたび、9月30日（土）に文翔館で開催される「東北6姫祭」の企画の一部をお手伝いすることになりました。競技かるたのデモンストレーションも行います。

また、10月7日から始まる国民文化祭に山形県代表として2名が出場します。

【山形大学かるた部】

2011年に創部、今年で7年目になります。

小白川キャンパスで15名が活動しています。

競技かるたを通して、古典文学に触れるだけでなく、精神力や集中力を養います。

○メンバー構成

人文学部3名、理学部6名、工学部4名、医学部1名、留学生1名

【主な活動】

○技術向上

部員一人ひとりが、各々の目標に向かって、競技かるたの練習に取り組んでいます。

練習日は、毎週火曜（13：00～）・土曜・日曜（10：00～）の3日間。

○普及活動

競技かるたの普及を目的に、県内のイベントでのお手伝いをしています。

県内の学校のかるた部にも、指導に行きます。

「東北6姫祭」に参加します

・日時：9月30日（土）11時～

・場所：文翔館 議事堂、前庭

・内容：第一部（11:00～12:30）

「ちはやぶる百人一首ミニ大会」の運営

かるた部の競技かるたデモンストレーション

など



「国民文化祭」に出場します

10月7日から始まる「国民文化祭 奈良」という都道府県別団体戦に山形県代表に2名の部員が選ばれました。

競技かるた選手の中でもトップレベルの選手が集い、全員袴着用にて行われます。



（お問合せ先）

山形大学かるた部部長 渡邊唯

caruta_yamagata_u@yahoo.co.jp

平成29年9月21日

山 形 大 学

*** 詳細は別添の資料をご覧ください。**

1. 山形大学農学部創立70周年記念事業について

農学部は昭和22年に山形県立農林専門学校として創立され、昭和24年に山形大学農学部として発足以来、本年をもちまして70周年を迎えます。このことを記念して、記念式典、記念講演及び祝賀会を執り行います。

日時：平成29年10月14日（土）

場所：東京第一ホテル鶴岡

2. 農学部紹介講座「農学のタベ」のご案内

食育、有機農業、バイオテクノロジー、環境問題など非常に幅広くなっている現代の農学を広く皆さんに知っていただきたいと考え企画しました。

日 時：平成29年10月5日（木）～11月30日（木）午後6時～7時30分 全8回

会 場：山形大学農学部講義室（鶴岡市若葉町1-23）

受講料：無料（申込不要）

お問い合わせ：山形大学農学部企画広報室 TEL:0235-28-2803

3. 山形大学農場フェスティバルを開催します

日 時：平成29年10月7日（土）10:00～15:30

場 所：山形大学農学部高坂農場 入場無料 ご飯無料

4. 地域教育文化学部ホームカミング（資料パネル展示会）を開催します

卒業生に、学部・大学院の現在について見ていただき、学部と卒業生の連携強化を図ることを目的に実施するもので、昨年度同様、地域教育文化学部同窓会母校創立139周年記念祝賀会の開催に合わせて、同会場ロビーにおいてパネル展示および資料展示を行います。

日 時：平成29年10月9日（月・祝）10:00～13:20

会 場：ホテルキャッスル3階ロビー（同窓会記念式典会場ロビーでの同時開催となります）

5. 第4回東北野生動物管理研究交流会 in つるおか を開催します

人口減少率が高い東北において、縮小社会に適応した新たな野生動物管理システムの構築が今まさに求められています。この研究交流会では、東北各地の昨今の取り組み事例から課題を共有・整理し、問題解決に向けた産官学の役割について議論していきます。

開催日：平成29年11月11日（土）

場 所：山形大学農学部

定 員：先着120名

平成29年9月21日
山形大学

山形大学農学部創立70周年記念事業について

農学部は昭和22年に山形県立農林専門学校として創立され、昭和24年に山形大学農学部として発足以来、本年をもちまして70周年を迎えます。このことを記念して、10月14日（土）に農学部創立70周年記念事業として、記念式典、記念講演及び祝賀会を執り行います。

記念講演は一般公開いたします。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日時：平成29年10月14日（土）

場所：東京第一ホテル鶴岡

1. 記念式典 会場：鳳凰の間（1階）

13：30～ 開式

- ・ 式辞（農学部長）
- ・ 挨拶（学長）
- ・ 来賓祝辞
- ・ 祝電披露

閉式

※ご参加は本学の関係者ならびにご招待の方に限らせていただきます。

2. 記念講演 会場：鳳凰の間（1階）

14：15～ 講演内容 卒業生によるリレー講演

「当時の農学部をふりかえって」

講演者 金内 英司氏（元山形大学農学部教授，昭和25年卒）

奥泉 久人氏（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 遺伝資源センター 主席研究員，昭和61年卒）

滝澤 匡氏（山形大学地域教育文化学部 准教授，平成11年卒・平成13年大学院卒）

上山 剛司氏（鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」 学芸員，平成19年大学院卒）

※一般の方にもご参加いただけます。10月10日（火）まで下記へお申し込み下さい。

3. 記念祝賀会 会場：鶴の間（2階）

16：00～

※ご参加は本学の関係者ならびにご招待の方に限らせていただきます。

（お問合せ先）

農学部事務室総務担当 電話 0235-28-2807

農学

の

夕べ

★ 平成29年度山形大学農学部

★ 農学紹介講座

現代の農学の対象は食育、有機農業、バイオテクノロジー、環境問題など非常に幅広くなっています。

そんな農学を広く皆さんに知っていただきたと考え、企画しました。

事前申込は不要です。興味のあるテーマがありましたらぜひお気軽にお越しください。

平成29年

10月5日（木）～11月30日（木）

講義時間／毎回 **18：00～19：30** 【全8回】

場 所：山形大学農学部3号館2階202講義室

受講料：無料（申込み不要）

〈お問い合わせ先〉山形大学農学部企画広報室

〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町1-23

TEL: 0235(28)2803

E-mail: nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

10/5 ① 「私たちの生活と農業・水産業のかかわり
～私たちはただの消費者じゃない？～」
教授 渡部 徹

10/12 ② 「カラダに良い油、悪い油」
准教授 井上 奈穂

10/19 ③ 「山岳信仰と出羽三山修験者の歴史①」
客員教授 前田 直己

10/26 ④ 「里山の隣人、タヌキとノウサギの生態」
助教 斎藤 昌幸

11/2 ⑤ 「イチゴ ～その歴史と今～」
教授 西澤 隆

11/9 ⑥ 「山岳信仰と出羽三山修験者の歴史②」
客員教授 前田 直己

11/16 ⑦ 「芽生えから朽ち果てるまで～炭素の流れから
樹木の一生を考える～」 准教授 吉村 謙一

11/30 ⑧ 「米由来副産物、廃棄物の再資源化に関する
最近の動向」 准教授 渡辺 昌規



開講日	講義テーマと概要	担当教員
第1回 10月5日(木) 202講義室	「私たちの生活と農業・水産業のかかわり～私たちはただの消費者じゃない?～」 私たちは、消費者として日頃、農・水・畜産業の恩恵を受けています。一方で、私たちの生活から出る廃棄物もまた、功罪の両面で、これらの一次産業に少なからず影響を与えています。本講義では、最新の研究成果をもとに、(ただの消費者としてではない) 私たちの生活と食料生産との関わりについて考えていきたいと思います。	渡部 徹 (水士環境科学コース)
第2回 10月12日(木) 202講義室	「カラダに良い油、悪い油」 近年のダイエットブームや生活習慣病罹患者の増加にともなって、「油脂＝カロリーが高くて、カラダに悪いもの」というイメージを持っていませんか? 油脂(脂肪酸)には良いものも悪いものもあります。また、さまざまな機能性を有するものも存在します。ここでは、油脂にまつわるトピックスや、油脂(脂肪酸)の機能性に関する研究内容について紹介します。	井上 奈穂 (食品・応用生命科学コース)
第3回 10月19日(木) 202講義室	「山岳信仰と出羽三山修験者の歴史①」 世界で最初にブロッケン現象に名前をつけたのは、出羽三山の修験者だった?! 俳人・松尾芭蕉が奥の細道で出羽三山に修行に入った際の門人、曾良の随行日記に着目し、山岳信仰と歴史について2回にわたり読み解いていきます。 ※ブロッケン現象：高山に登った際、登山者自身の影が太陽を光源にして霧や雲に映る現象。飛行機の影が雲に映ることや、影の周囲に虹のような光の輪が現れることがある。	前田 直己 (客員教授)
第4回 10月26日(木) 202講義室	「里山の隣人、タヌキとノウサギの生態」 民話「かちかち山」では、狸と兎の激しいやり取りが描かれています。唱歌「故郷」では、彼の山の兎を追った思い出が述べられています。タヌキとノウサギは日本に広く分布しており、里山的な環境と比較的相性が良いせいか、日本人にとってなじみ深い生きものとなっています。しかし、みなさんは彼らのことをどれくらい知っているでしょうか? 今回は里山の隣人、タヌキとノウサギの生態についてご紹介します。	斎藤 昌幸 (森林科学コース)
第5回 11月2日(木) 202講義室	「イチゴ ～その歴史と今～」 魅惑的な赤い色と甘く適度な酸味のあるイチゴは、最も人気のある果物の一つです。 でも、現在私達が食べているイチゴがいつどこで最初に作られたのか知っている人は余り多くありません。また、現在イチゴは寒冷地から熱帯地域に至るまで世界中で栽培されていますが、どこの国が最も多くイチゴを栽培しているのでしょうか? さらに、日本におけるイチゴの栽培技術は世界でもトップクラスと言われますが、日本のイチゴの生産性も世界でトップクラスなのでしょうか? こうした点についてデータを基に考えて行くと、意外な一面が見えてきます。本講義ではイチゴを通して世界と日本の園芸生産について考えて行こうと思います。	西澤 隆 (安全農産物生産学コース)
第6回 11月9日(木) 202講義室	「山岳信仰と出羽三山修験者の歴史②」 世界で最初にブロッケン現象に名前をつけたのは、出羽三山の修験者だった?! 俳人・松尾芭蕉が奥の細道で出羽三山に修行に入った際の門人、曾良の随行日記に着目し、山岳信仰と歴史について2回にわたり読み解いていきます。 ※ブロッケン現象：高山に登った際、登山者自身の影が太陽を光源にして霧や雲に映る現象。飛行機の影が雲に映ることや、影の周囲に虹のような光の輪が現れることがある。	前田 直己 (客員教授)
第7回 11月16日(木) 202講義室	「芽生えから朽ち果てるまで～炭素の流れから樹木の一生を考える～」 樹木は大気中の二酸化炭素を吸収し、光合成をおこなうことによって生長します。また、樹木は枯死すると微生物等によって分解され、大気中に二酸化炭素を放出することになります。生長して大きくなり、枯死した後には分解されるという「樹木の一生」は炭素の動きとして表現することができます。本講義の前半では樹木の生長・枯死・分解と環境の関わりについて説明し、後半では森林全体の炭素の流れを示し、森林の二酸化炭素吸収機能について議論したいと思います。	吉村 謙一 (森林科学コース)
第8回 11月30日(木) 202講義室	「米由来副産物、廃棄物の再資源化に関する最近の動向」 庄内は日本有数の米どころであり、米に関わる産業が古くから根付いております。現在、米の加工時に様々な米副産物が生成し、あらゆる用途で利用されております。本講義では、米加工副産物の詳細とその利活用ならびに、その最新の動向について広く講義します。	渡辺 昌規 (食品・応用生命科学コース)

山形大学農場 フェスティバル

で「きたて」の黄金米がましてケ!!



2017 10.7 SAT DOORS OPEN 9:30
10:00-15:30

開催場所：山形大学農学部高坂農場

入場
無料

ご飯
無料



あそぶ

- ・農機展示！
- ・君も今日からヤギの家族！～アルパニアファミリー～
- ・荷台に揺られて♪農場見 学ツアー！
- ・演習林ブース
- ・薪ボイラーで足湯 in 農場（板垣水道）
- ・出張！森の学校！！
- ・レッツ ツリーイング！！
- ・新新米！！脱穀仕立てを味わおう※※
- ・伝説のお米「亀の尾」を食べよう！！
- ・ジャグリング体験
- ・今年もゆるキャラ集合！
じゅっきーくん＆むひょこちゃん＆いがもちこ
- ・国さがしゲーム～青年海外協力隊がいる国はどこ？～
- ・いろんな楽器を触ってみよう！
- ・鶴岡イトコラボ～知る × 伝えるワークショップ～
- ・庄内キャンドルナイトの会
- ・鶴岡ナリワイアライアンス
【農業 × ワークショップや展示販売を実施！】
- and more...

おながく

- ・深街エンジ（鶴岡）
- ・農学部吹奏楽団
- ・花笠踊り（四面楚歌）
- ・Kickin' Dance Fam
- ・重音バンド
- ・グリーングリーン（鶴岡）
- ・農場フェスティバルズ
- ・農機 Show!
- ・ジャグリングパフォーマンス
- ・オレたち悟り世代（山形）
- ・うたごえサークルとまり火
- ・特大農機 Show!
- ・Stage Artist: 工房げるぐとと愉快的仲間たち

たべる

新米炊立てご飯無料！ ミルキークイーン&はえぬき

ご飯のお供、農産物、加工品販売

串焼き、から揚げ（藤の里農場）/ てんぷら（やさいろ）/
山形牛カレー、山形牛すじ煮込み（ミートデリカドール）/
ふりかけ&スパイス調合体験（黒川まるいし農場）/
高坂農場産豚肉炭火焼（豚井のアタマ屋）/
芋煮、コーヒー、クレープ、みそ玉、とうもろこし、
ドライフルーツ、紅花（おしゃべりな畑）/
フライドポテト、ピッツァフリッター、じゃがいも（叶野農場）/
月山アイスクリーム/新米、りんごくり、さといも（山太農場）/
ぶどう、なし、野菜（蛸井農場）/ まくらげ（鈴木屋本店）/
自然薯（鶴岡自然薯研究会）/
鶴川産なめこ（くまちゃんなめこ） and more...

まなぶ

樹形のふしぎ
～樹木が様々な環境に生きる工夫



講師：吉村謙一准教授

山形大学発「ハム・ソーセージ」の
ご紹介



講師：松山裕城准教授



山形県鶴岡市高坂字古町 5-3
TEL : 0235-24-2278
MAIL : nogyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



主催 山形大学農学部高坂農場
共催 山形大学農学部
山形大学農学部地域産学官連携協議会

農場フェスティバル JAM 15:45-19:15

ご飯でお腹いっぱいのは後は音楽（JAM）のデザート！

BEAST VALCO JAM (北海道) / Axis of rotation (酒田) / 7 年目の Candle Night (山形大学農学部)
農場フェスティバルズ / シーダランド (小田川) / Cadd9 (山形大学農学部) / ササクレ (鶴岡高専)
主催：山形大学農学部重音学部 / 庄内キャンドルナイトの会 連絡先：0235-28-2880

山形大学農場 フェスティバル

【山形大学農場フェスティバルとは？】

「山大の農場とか演習林はどんなところ？」とよく聞かれます。農場ではうまい米を作っています。うまいトマト、ブルーベリー、だだちゃ豆、リンゴなどたくさん作っています。牛、ヤギ、豚がいます。演習林は森林があります。川があります。自慢できるぐらい雪が降ります。これらのフィールドを使い教員は講義をし、実習をし、実験をしてそれを世界に発表しています。学生はそれらを通して日々成長しています。

そう、こんなとこなんです！と少しでも皆さんに伝えたい！という場が「山形大学農場フェスティバル」です！

農場、演習林のスタッフが大学や学生や地域の方々の力を借りて作っているフェスです。子供からお年寄りまで幅広い方々が混ざり合って楽しんでいただければと願っております。今年のテーマは～できたての黄金米 かましてケ!!～です。黄金地区高坂農場の黄金米をみんなでケ（食べ：庄内弁）！ということで、新米炊き立てご飯はやっぱり無料です！収穫の喜びを分かち合いましょう！（おかずは有料）

Enjoy our new GOLDEN RICE!!

出演アーティスト 10:20-15:30

- ・深街エンジ（鶴岡）
- ・農学部吹奏楽団
- ・花笠踊り（四面楚歌）
- ・Kickin' Dance Fam
- ・重音バンド
- ・グリーングリーン（鶴岡）
- ・農場フェスティバルズ
- ・農機 Show!
- ・ジャグリングパフォーマンス
- ・オレたち悟り世代（山形）
- ・うたごえサークルとまり火
- ・特大農機 Show!
- ・Stage Artist: 工房げるぐどと愉快的仲間たち

お子さまがパパ、ママと楽しく遊べるコーナー多数！

10:00-15:30

- ・農機展示！
- ・君も今日からヤギの家族！～アルパニアファミリー～！
- ・荷台に揺られて♪農場見学ツアー！
- ・演習林ブース
- ・薪ボイラーで足湯 in 農場（板垣水道）
- ・出張！森の学校！！
- ・レッツ ツリーイング！！
- ・新新米！！脱穀仕立てを味わおう※※
- ・伝説のお米「亀の尾」を食べよう！！
- ・ジャグリング体験
- ・今年もゆるキャラ集合！
じゅっきーくん＆むひょこちゃん＆いもちこ
- ・国さがしゲーム～青年海外協力隊がいる国はどこ？～
- ・いろんな楽器を触ってみよう！
- ・鶴岡イトコラボ～知る × 伝えるワークショップ～
- ・庄内キャンドルナイトの会
- ・鶴岡ナリワイアライアンス
- 【農業 × ♡ワークショップや展示販売を実施！】

特別講演会 各30分

樹形のふしぎ～樹木が様々な環境に生きる工夫

吉村謙一准教授

身の回りの樹木を観察すると「まるい形の木」や「とがった形の木」、あるいは「平べったい形の木」などいろいろな形の木があることがわかります。樹形を観察すると樹木がどのようなストレス状態にあるのか推測することができます。樹形を観察して「樹木のつぶやき」を聞いてみませんか？

山形大学発「ハム・ソーセージ」のご紹介

松山裕城准教授

山形大学農学部寄附講座－食料自給圏「スマート・テロワール」形成講座－における取り組みの一貫で、東北ハム様、太田産商様のご協力により山形大学発のハム、ソーセージが出来ました。開発のコンセプトや経緯、今後の展開、また、ハムやソーセージの豆知識など紹介します。もちろん試食もありますよ！

農産物販売 10:00-15:30

○新米炊き立てご飯無料!! ミルキーQueen&はえぬき ○ご飯のお供、農産物、加工品販売

○ご飯のお供の販売

- ・串焼き、から揚げ（藤の里農場）・庄内産てんぷら（やさいろ）・山形牛カレー、庄内豚焼肉、山形牛すじ煮込み（ミートデリカドール）・ふりかけ&スパイス調合体験（黒川まるいし農場）
- ・高坂農場産豚肉炭火焼（豚丼のアタマ屋）・芋煮、コーヒー、クレープ、みそ玉、おかゆ、とうもろこし、ドライフルーツ、紅花（おしゃべりな畑）・フライドポテト、ピッツァフリッター（叶野農場）
- ・シャーベットアイス、ソフトアイス（月山アイスクリーム）

○農産物、加工品販売

- ・新米、りんご、くり、さといも（山大農場）・ぶどう、なし、野菜（蛸井農場）・きくらげ（鈴木屋本店）
- ・自然薯、外内島きゅうり（鶴岡自然薯研究会）じゃがいも、人参（叶野農場）・なめこ（くまちゃんなめこ）

⚠ 注意事項

※給水所は救護所に設けております。飲み物は清涼飲料水のみ販売いたします。

※畜舎には絶対入らないで下さい。牛は外から見てください。

※駐車場には限りがございます。

※会場内・外において、他のお客様、並びに近隣の方々に迷惑がかけられないようご協力願います。

※会場内・外で発生した事故、盗難等は主催者・会場・出演者は一切責任を負いません。

※飲酒運転は絶対におやめ下さい。※会場内は禁煙となっております。

※都合により内容の一部を変更することがございますのでご了承下さい。

※少雨の場合は予定通り開催いたします。多雨の場合は建物内で縮小開催といたします。

雨具の準備をお願いいたします。



2017年10月7日（土）10:00～15:30（開場9:30）

山形大学農場フェスティバルに関するお問い合わせ 0235-24-2278 nogyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催：山形大学農学部高坂農場 共催：山形大学農学部、山形大学農学部地域産学官連携協議会

農場フェスティバル JAM 15:45-19:15 -農場フェス終了後-

主催：山形大学農学部重音学部・庄内キャンドルナイトの会 連絡先：0235-28-2880

新米のおいしいご飯は食べた！次はデザートか!? JAM だな！ということで、農場フェスティバル終了後に行われる音楽を中心としたイベントです。

BEAST VALCO JAM（北海道）/Axis of rotation（酒田）/7年目のCandle Night（山形大学農学部）/シーダランド（小白川）/Cadd9（山形大学農学部）/ササクレ（鶴岡高専）

平成29年9月21日
山形大学

地域教育文化学部ホームカミング（資料パネル展示会）を開催します

地域教育文化学部ホームカミング（資料パネル展示会）を開催します。

ホームカミングは、卒業生に、学部・大学院の現在について見ていただき、学部と卒業生の連携強化を図ることを目的に実施されるものです。

昨年同様、地域教育文化学部同窓会母校創立139周年記念祝賀会の開催に合わせて、同会場ロビーにおいてパネル展示および資料展示を行います。

山形大学地域教育文化学部ホームカミング資料パネル展示会

日時：平成29年10月9日（月・祝）10:00～13:20

場所：ホテルキャッスル 3 階ロビー

（同窓会記念式典会場ロビーでの同時開催となります）

内容：パネル展示

- ◆学部概要
- ◆学生・教育
- ◆男女共同参画推進パネル展

資料展示

- ◆山形新聞コラム「地域×学び」「地域と学ぶ」
- ◆学部案内
- ◆広報誌「教育学部だより」

（お問合せ先）

地域教育文化学部事務室

電話 023-628-4304

山形大学地域教育文化学部ホームカミング 資料パネル展示会

日時：平成29年10月9日（月）10:00～13:20

場所：ホテルキャッスル3階ロビー

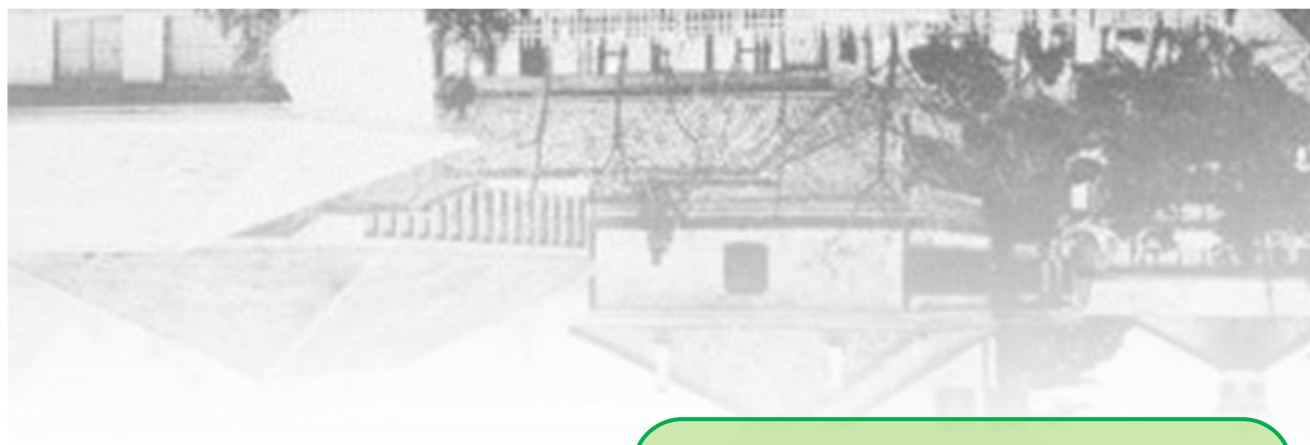
内容：

パネル展示

- ◆学部概要
- ◆学生・教育
- ◆男女共同参画推進パネル展

資料展示

- ◆山形新聞コラム「地域×学び」「地域と学ぶ」
- ◆学部案内
- ◆広報誌「教育学部だより」



同窓会記念式典会場のロビーでの
同時開催となります。

お問い合わせ先

山形大学地域教育文化学部事務室

電話：023-628-4304

E-mail：

kyosoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

第4回 東北 野生動物管理 研究交流会 in つるおか

2017.11.11 Sat. 10:30 – 17:40 (10:00開場)

山形大学農学部 (山形県鶴岡市) 301講義室 ほか

入場無料 要申込 2017.10.31 締切 裏面参照

定員 先着 120 名

基調講演

無居住化がもたらす景観と生態系の変化

深澤 圭太 氏

国立環境研究所 主任研究員

リレートーク

- | | |
|---------|----------------|
| 宇野 壮春 氏 | 東北野生動物保護管理センター |
| 奥田 圭 氏 | 東京農工大学 |
| 斎藤 昌幸 氏 | 山形大学 |
| 古澤 優佳 氏 | 山形県森林研究研修センター |
| 江成 広斗 氏 | 山形大学 |

野生動物に
関する事例紹介
ポスター
募集中!

主催／東北野生動物管理研究交流会実行委員会 合同会社 東北野生動物保護管理センター
共催／鶴岡市（予定）、後援／山形県（予定） 「野生生物と社会」学会

研究交流会実行委員／山形大学：玉手英利, 林田光祐, 江成広斗, 斎藤昌幸 合同会社東北野生動物保護管理センター：宇野壮春, 関健太郎
山形県森林研究研修センター：斎藤正一 東京農工大学：奥田圭 雪国野生動物研究会：江成はるか（交流会事務局）

野生動物によってもたらされる産業・生活基盤への影響は、深刻な社会問題として広く議論されるようになりました。これら問題の主因として、野生動物の個体数の増加と同時に、農村や、その周辺域における急速な人口減少が考えられます。

そのため、人口減少率が高い東北において、縮小社会に適応した新たな野生動物管理システムの構築が今まさに求められています。

この研究交流会では、東北各地の昨今の取り組み事例から課題を共有・整理し、問題解決に向けた産官学の役割について議論していきます。

● 10:00 開場

● 10:30 – 10:40 開会挨拶・趣旨説明

● 10:40 – 12:10 リレートーク Part 1

宇野 壮春 イノシシの分布回復と捕獲手法による諸問題
奥田 圭 原発事故・津波被災に伴う人間の移出が野生哺乳類群集に与える影響
斎藤 昌幸 山形県でクマが目撃される場所にはどんな特徴があるか？

● 12:10 – 12:45 昼 食 ・ 休 憩

● 12:45 – 15:00 ポ ス タ ー 発 表

野生動物に関する事例紹介

- 野生動物に関する事例とし、愛玩動物は含みません
- 企業ブースはポスター発表のみといたします
- ポスターは、縦100cm×幅120cm以内に収めてください
- 発表をご希望の際は申込時にご連絡ください

● 15:15 – 16:25 基 調 講 演

深澤 圭太 国立環境研究所 主任研究員 無居住化がもたらす景観と生態系の変化

● 16:30 – 17:30 リレートーク Part 2

古澤 優佳 山形県におけるシカを目撃情報と生息実態
江成 広斗 鳴声を使った新たなシカのモニタリングの試み

● 17:30 – 17:40 総 括 ・ 閉 会 の 挨 拶

● 18:30 – 20:30 懇 親 会

参加者のみなさまと交流しましょう！（事前の申込み・会費の払込みが必要です）

場所／定員：山形大学農学部生協 先着80名

会費：一般 3,000円 学生2000円 ※ 当日参加は受け付けておりません。

お申込み先

研究交流会実行委員会 事務局

<http://four-m.jp/yu-coe2017/>

お問い合わせ先

tohoku.wildlife@gmail.com

懇親会費振込先

ゆうちょ銀行 普通預金

店番 858 口座番号 2335465

口座名義人 エナリハルカ

申込 / 振込締切：2017年10月31日

山形大学農学部

住所：山形県鶴岡市若葉町1-23

山形駅－鶴岡駅：高速バスで約2時間

仙台駅－鶴岡駅：高速バスで約3時間（要予約）

新潟駅－鶴岡駅：J R（特急）で約2時間

鶴岡駅－大 学：徒歩約15分

アクセスマップ

<http://www.tr.yamagata-u.ac.jp/access.html>

お車で越しの方は、道路を挟んだ正門向かい側、体育館前が駐車場となりますので、こちらをご利用ください。